

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成24年11月12日

【四半期会計期間】 第86期第2四半期(自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日)

【会社名】 株式会社大紀アルミニウム工業所

【英訳名】 DAIKI ALUMINIUM INDUSTRY CO.,LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 山本隆章

【本店の所在の場所】 大阪市西区土佐堀一丁目4番8号

【電話番号】 06(6444)2751(代表)

【事務連絡者氏名】 専務取締役管理部担当 仲南弘三

【最寄りの連絡場所】 大阪市西区土佐堀一丁目4番8号

【電話番号】 06(6444)2751(代表)

【事務連絡者氏名】 専務取締役管理部担当 仲南弘三

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)
株式会社大阪証券取引所
(大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第85期 第2四半期 連結累計期間	第86期 第2四半期 連結累計期間	第85期
会計期間		自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日	自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日	自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日
売上高	(千円)	50,081,877	52,286,308	102,536,168
経常利益	(千円)	499,378	376,418	1,046,110
四半期(当期)純利益	(千円)	721,846	134,391	1,029,114
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	665,307	198,072	836,917
純資産額	(千円)	18,611,402	18,168,055	18,780,558
総資産額	(千円)	55,510,919	54,620,655	52,954,238
1株当たり四半期(当期) 純利益金額	(円)	17.48	3.25	24.92
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)	17.16	3.19	24.46
自己資本比率	(%)	33.07	32.80	34.99
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)	3,353,874	945,052	439,463
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)	527,599	573,973	1,400,898
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)	3,036,484	3,385	1,444,998
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)	2,694,861	2,143,249	3,081,110

回次		第85期 第2四半期 連結会計期間	第86期 第2四半期 連結会計期間
会計期間		自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日	自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	14.02	3.90

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営んでいる事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要を背景に緩やかな回復が一部では見られたものの、欧州債務問題による世界経済の減速や長引く円高、株価の下落等の影響により、依然として景気の先行きは不透明な状況で推移しました。

こうした環境のもと、当社グループの大手需要先である自動車メーカーは回復基調にあったものの、需要は当初予想を下回る状況で推移しました。

この結果、当社グループの第2四半期連結売上高につきましては、アルミニウム二次合金地金308億3千1百万円（前年同期比0.7%増）、商品・原料他214億5千4百万円（前年同期比10.1%増）で、これらを併せた売上高総額は522億8千6百万円（前年同期比4.4%増）となりました。

収益面につきましては、アルミニウム市況低迷の影響、主として自動車業界向けのアルミニウム二次合金製品等の販売数量が伸び悩んだこと及び当連結会計年度の第1四半期から新規に連結となったダイキアルミニウム インダストリー インドネシアの業績が予想を下回ったことを受け、経常損益につきましては、3億7千6百万円の利益（前年同期比24.6%減）となり、四半期純損益は1億3千4百万円（前年同期比81.4%減）の利益を計上することとなりました。

事業別セグメントの状況は、次のとおりであります。

アルミニウム二次合金事業はアルミニウム市況低迷の影響、主として自動車業界向けのアルミニウム二次合金製品等の販売数量が伸び悩んだこと及び当連結会計年度の第1四半期から新規に連結となった上記の子会社の業績が予想を下回ったことにより、売上高は517億8百万円（前年同期比4.3%増）、営業損益は5億3千1百万円の利益（前年同期比24.4%減）となりました。

その他の事業セグメントについても同様に依然として厳しい状況で推移したことにより、売上高は7億4千1百万円（前年同期比15.5%増）、営業損益は4千万円の損失（前年同期は7千2百万円の損失）となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ9億3千7百万円減少し、21億4千3百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動による資金の減少は、主に売上債権が増加したこととたな卸資産の減少により9億4千5百万円（前年同期は33億5千3百万円の減少）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動による資金の減少は、主に有形固定資産の取得による支出により5億7千3百万円（前年同期は5億2千7百万円の減少）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動による資金の増加は、主に長期借入れによる収入や返済による支出及び社債の償還による支出により3百万円（前年同期は30億3千6百万円の増加）となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の研究開発費の総額は4千4百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	160,000,000
計	160,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成24年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成24年11月12日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	43,629,235	43,629,235	東京証券取引所 大阪証券取引所 (各市場第一部)	単元株式数は 1,000株で あります。
計	43,629,235	43,629,235		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成24年9月30日		43,629,235		6,346,642		2,400,164

(6) 【大株主の状況】

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	平成24年9月30日現在
			発行済株式総数に対する 所有株式数の割合(%)
有限会社山本エステート	大阪府豊中市南桜塚1丁目2番1号	3,480	7.98
株式会社りそな銀行	大阪市中央区備後町二丁目2番1号	1,904	4.36
株式会社三菱東京UFJ銀行	東京都千代田区丸の内二丁目7番1号	1,580	3.62
山本喜代	大阪府豊中市	1,276	2.92
大紀アルミ得意先持株会	大阪市西区土佐堀1丁目4番8号	1,260	2.89
株式会社みずほコーポレート銀行	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号	1,004	2.30
みずほ信託銀行株式会社	東京都中央区八重洲一丁目2番1号	1,003	2.30
株式会社三井住友銀行	東京都千代田区丸の内一丁目1番2号	1,002	2.30
日本生命保険相互会社	東京都千代田区丸の内一丁目6番6号	930	2.13
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	東京都中央区晴海一丁目8番11号	840	1.93
計		14,282	32.74

- (注) 1 上記のほか、当社所有の自己株式2,333千株(5.35%)があります。
2 上記の所有株式数のうち、信託業務に係る株式数は、次のとおりであります。
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 478千株

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成24年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 2,333,000		権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式
完全議決権株式(その他)	普通株式 41,103,000	41,103	同上
単元未満株式	普通株式 193,235		同上
発行済株式総数	43,629,235		
総株主の議決権		41,103	

(注) 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が2千株(議決権2個)含まれております。

【自己株式等】

平成24年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社 大紀アルミニウム工業所	大阪市西区土佐堀一丁目 4番8号	2,333,000		2,333,000	5.35
計		2,333,000		2,333,000	5.35

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成24年7月1日から平成24年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,096,936	2,159,128
受取手形及び売掛金	3 23,302,614	3 25,869,603
商品及び製品	6,229,702	6,420,988
仕掛品	104,883	135,625
原材料及び貯蔵品	5,469,699	5,163,212
繰延税金資産	119,677	121,110
その他	357,919	548,968
貸倒引当金	91,581	58,595
流動資産合計	38,589,852	40,360,041
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	9,002,547	9,437,271
減価償却累計額	5,824,060	5,956,910
建物及び構築物(純額)	3,178,486	3,480,360
機械装置及び運搬具	17,403,737	18,197,519
減価償却累計額	15,118,807	15,357,516
機械装置及び運搬具(純額)	2,284,930	2,840,003
工具、器具及び備品	909,855	1,006,854
減価償却累計額	633,756	654,774
工具、器具及び備品(純額)	276,098	352,079
土地	3,133,430	3,313,035
リース資産	237,183	279,601
減価償却累計額	22,038	41,552
リース資産(純額)	215,145	238,048
建設仮勘定	25,869	263,537
有形固定資産合計	9,113,959	10,487,065
無形固定資産		
のれん	38,771	26,500
その他	94,401	90,293
無形固定資産合計	133,172	116,794
投資その他の資産		
投資有価証券	3,876,307	2,458,681
長期貸付金	14,087	12,773
繰延税金資産	750,547	709,663
その他	629,051	630,692
貸倒引当金	152,739	155,057
投資その他の資産合計	5,117,254	3,656,752
固定資産合計	14,364,386	14,260,613
資産合計	52,954,238	54,620,655

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3 6,037,471	3 6,131,833
1年内償還予定の社債	300,000	-
短期借入金	18,027,445	18,856,032
未払金	451,808	531,662
未払法人税等	94,906	83,729
未払消費税等	87,298	96,052
未払費用	856,324	876,802
役員賞与引当金	2,000	-
賞与引当金	181,446	201,557
その他	190,544	520,245
流動負債合計	26,229,245	27,297,916
固定負債		
長期借入金	7,079,113	8,278,560
退職給付引当金	366,858	364,662
役員退職慰労引当金	24,334	25,146
資産除去債務	95,157	96,251
負ののれん	3,261	684
その他	375,710	389,377
固定負債合計	7,944,435	9,154,683
負債合計	34,173,680	36,452,599
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,346,642	6,346,642
資本剰余金	8,852,088	8,852,088
利益剰余金	4,549,591	4,269,947
自己株式	784,204	784,319
株主資本合計	18,964,117	18,684,359
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	343,883	66,311
繰延ヘッジ損益	29,530	730
為替換算調整勘定	808,721	835,886
その他の包括利益累計額合計	435,307	770,304
新株予約権	197,257	196,977
少数株主持分	54,489	57,023
純資産合計	18,780,558	18,168,055
負債純資産合計	52,954,238	54,620,655

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	50,081,877	52,286,308
売上原価	47,654,858	49,814,398
売上総利益	2,427,019	2,471,909
販売費及び一般管理費		
運搬費	708,834	854,937
役員退職慰労引当金繰入額	2,649	2,668
賞与引当金繰入額	44,868	55,039
その他	1,066,506	1,074,261
販売費及び一般管理費合計	1,822,859	1,986,906
営業利益	604,160	485,002
営業外収益		
受取利息	3,961	3,844
受取配当金	35,808	50,495
持分法による投資利益	-	43,513
貸倒引当金戻入額	9,947	32,165
技術指導料	15,445	20,042
鉄屑売却益	42,305	32,072
その他	147,096	72,506
営業外収益合計	254,565	254,640
営業外費用		
支払利息	232,521	248,629
手形売却損	1,401	2,005
休止固定資産減価償却費	46,403	25,403
持分法による投資損失	19,478	-
為替差損	3,340	57,808
その他	56,202	29,376
営業外費用合計	359,347	363,224
経常利益	499,378	376,418
特別利益		
固定資産売却益	237,430	1,136
新株予約権戻入益	3,137	280
特別利益合計	240,567	1,417
特別損失		
固定資産除売却損	37,966	30,406
投資有価証券評価損	-	7,715
その他	729	-
特別損失合計	38,695	38,121
税金等調整前四半期純利益	701,250	339,713
法人税、住民税及び事業税	64,371	86,626
法人税等調整額	89,236	116,733
法人税等合計	24,865	203,359
少数株主損益調整前四半期純利益	726,115	136,354
少数株主利益	4,268	1,962
四半期純利益	721,846	134,391

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	726,115	136,354
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	78,286	277,525
繰延ヘッジ損益	77,323	30,261
為替換算調整勘定	55,527	55,065
持分法適用会社に対する持分相当額	4,318	28,425
その他の包括利益合計	60,808	334,426
四半期包括利益	665,307	198,072
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	662,393	200,606
少数株主に係る四半期包括利益	2,914	2,533

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	701,250	339,713
減価償却費	619,310	587,622
退職給付引当金の増減額(は減少)	22,614	2,285
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	649	812
貸倒引当金の増減額(は減少)	68,544	33,012
受取利息及び受取配当金	39,770	54,340
支払利息	232,521	248,629
持分法による投資損益(は益)	19,478	43,513
有形固定資産除売却損益(は益)	199,463	29,269
売上債権の増減額(は増加)	1,591,875	2,455,727
たな卸資産の増減額(は増加)	2,676,777	905,882
仕入債務の増減額(は減少)	182,906	228,756
その他	68,373	46,480
小計	3,140,367	659,223
利息及び配当金の受取額	57,540	87,200
利息の支払額	234,724	295,831
法人税等の支払額	36,323	77,197
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,353,874	945,052
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	371,833	518,480
有形固定資産の売却による収入	400,099	4,888
投資有価証券の取得による支出	517,730	38,963
短期貸付けによる支出	20,102	20,000
短期貸付金の回収による収入	87	215
その他	18,120	1,632
投資活動によるキャッシュ・フロー	527,599	573,973
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	2,504,722	207,235
長期借入れによる収入	1,750,000	1,883,464
長期借入金の返済による支出	1,172,129	1,103,823
社債の償還による支出	-	300,000
自己株式の純増減額(は増加)	207	114
配当金の支払額	123,896	247,779
セール・アンド・リースバックによる収入	83,917	-
その他	5,922	21,125
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,036,484	3,385
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,230	9,559
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	847,220	1,506,080
現金及び現金同等物の期首残高	3,369,649	3,081,110
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	172,432	568,219
現金及び現金同等物の四半期末残高	1 2,694,861	1 2,143,249

【継続企業の前提に関する事項】

該当事項はありません。

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	
連結の範囲の重要な変更	第1四半期連結会計期間より、重要性が増したダイキアルミニウム インダストリー インドネシアを連結の範囲に含めております。

【会計方針の変更等】

当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)	当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。
	なお、これによる当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

該当事項はありません。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 (偶発債務)

連結会社以外の会社の金融機関等からの借入に対して、債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
ダイキ オーエム アルミニウム インダストリー (フィリピンズ)	123,285千円	116,385千円

2 (手形割引高)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
受取手形割引高	500,181千円	513,099千円

3 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。なお、当第2四半期連結会計期間末日及び連結子会社の四半期決算日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が、四半期連結会計期間末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
受取手形	274,485千円	216,108千円
支払手形	173,575千円	205,029千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
現金及び預金	2,711,050千円	2,159,128千円
預入期間が3か月を超える 定期預金	16,188千円	15,878千円
現金及び現金同等物	2,694,861千円	2,143,249千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月23日 定時株主総会	普通株式	123,896	3.00	平成23年3月31日	平成23年6月24日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月22日 定時株主総会	普通株式	247,779	6.00	平成24年3月31日	平成24年6月25日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年11月9日 取締役会	普通株式	123,888	3.00	平成24年9月30日	平成24年12月5日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	アルミニウム 二次合金				
売上高					
外部顧客への売上高	49,467,182	614,695	50,081,877		50,081,877
セグメント間の内部売上高 又は振替高	102,726	27,174	129,900	129,900	
計	49,569,908	641,869	50,211,778	129,900	50,081,877
セグメント利益又は セグメント損失()	702,815	72,939	629,876	25,716	604,160

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ダイカスト製品事業及びアルミニウム溶解炉事業を含んでおります。

2 セグメント利益又はセグメント損失の調整額 25,716千円には、のれんの償却額 26,438千円が含まれております。

3 セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	アルミニウム 二次合金				
売上高					
外部顧客への売上高	51,572,526	713,781	52,286,308		52,286,308
セグメント間の内部売上高 又は振替高	135,741	27,812	163,553	163,553	
計	51,708,267	741,593	52,449,861	163,553	52,286,308
セグメント利益又は セグメント損失()	531,618	40,090	491,528	6,525	485,002

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ダイカスト製品事業及びアルミニウム溶解炉事業を含んでおります。

2 セグメント利益又はセグメント損失の調整額 6,525千円には、のれんの償却額 12,270千円が含まれております。

3 セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

なお、これによる当第2四半期連結累計期間のセグメント利益に与える影響は軽微であります。

(金融商品関係)

金融商品の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(有価証券関係)

有価証券の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(デリバティブ取引関係)

デリバティブ取引の四半期連結会計期間末の契約額等は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	17円48銭	3円25銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	721,846	134,391
普通株主に帰属しない金額		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	721,846	134,391
普通株式の期中平均株式数(株)	41,298,552	41,296,483
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	17円16銭	3円19銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)		
普通株式増加数(株)	768,649	768,619
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

第86期(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)中間配当について、平成24年11月9日開催の取締役会において、平成24年9月30日の株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額	123,888千円
1株当たりの金額	3円00銭
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	平成24年12月5日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年11月5日

株式会社大紀アルミニウム工業所
取締役会御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員

公認会計士 辻内 章 印

指定有限責任社員
業務執行社員

公認会計士 森村 照私 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社大紀アルミニウム工業所の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成24年7月1日から平成24年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社大紀アルミニウム工業所及び連結子会社の平成24年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。